

組 番 名前

1. 教科書 P.22 海津市の写真を見て、気付いたことを書きましょう。



2. 海津市の土地のつくりについて調べてみましょう。

(1) 海面の高さ (0m) より低いところに、色をぬりましょう。

(2) 海津市を囲む川の名前を調べて、書きましょう。

3. 海津市の土地の様子についてまとめました。

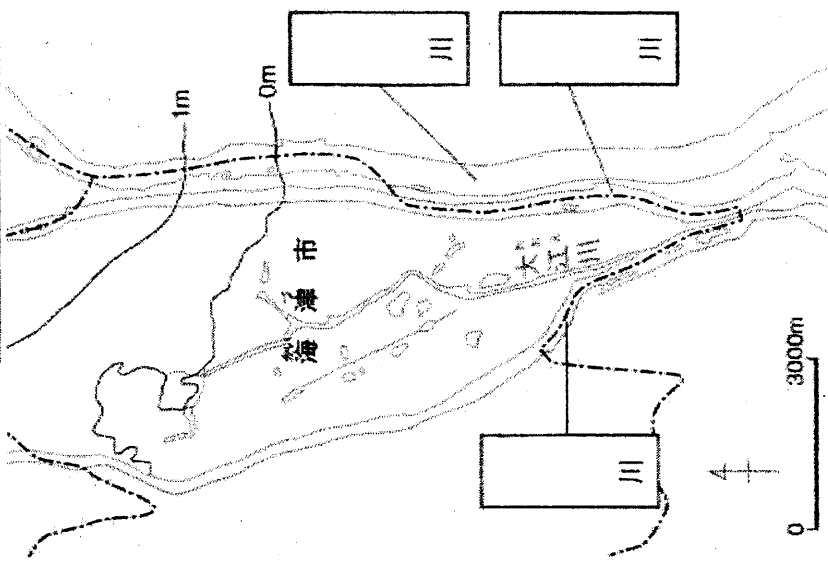
( ) にあてはまる言葉を書きましょう。

・ 海津市は、( ) 川、( ) 川、

( ) 川の三つの大きな川の下流にある。

・ 海津市の土地の多くは、( ) より低い。

・ 土地の周りは、( ) に囲まれている。



4. 次の言葉を覚えましょう。

輪中	海面より低く、堤防に囲まれた海津市の土地の呼び方。
堤防	こう水や高波から、人々のくらしを守るためにつくられたもの。

5. 大きな川に囲まれた海津市の人々のくらしや産業について考えましょう。

(1) 川の水面より低い土地であることから、生活するうえで、どんなことが不安になるか、あなたの考えを書きましょう。

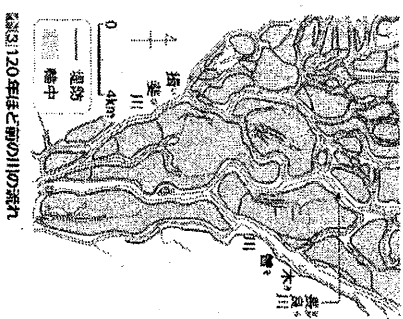
(2) 豊かな水があることで、どんな産業がさかんだと思いますか。またくらしの工夫についてもあなたの考えを書きましょう。

輪中に住む人々は、水害から生活をどのように守ってきたのか調べましょう。

1. 120年ほど前の川の流れを見て、気付いたことを書きましょう。

Blank box for writing answers to question 1.

2. 歴史民俗資料館の服部さんの話から、分かることをまとめました。  
( ) にあてはまる言葉をかきましよう。

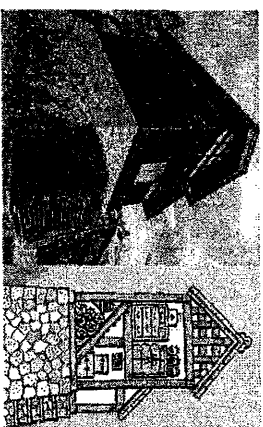


約120年ほど前の川の流れ

明治時代、オランダの技師 ( ) が、水源や流れを調査し、大規模な ( ) が必要だと報告した。工事は ( ) 年ほどかかり、 ( ) あった輪中は ( ) ほどにまとめられ、 ( ) の心配がなくなった。

3. 右の写真 (教科書 P.27) は、水害を復元したものです。  
この建物の水害からくらしを守る工夫を書きましよう。

Blank box for writing answers to question 3.

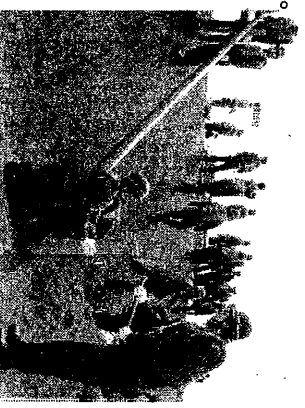


4. 輪中の人々が行ってきた水害から生活を守る工夫について、まとめました。  
( ) にあてはまる言葉を書きましよう。

- ・ 少しでも ( ) 土地に家を建てた。
- ・ 水害を建てた。
- ・ 治水工事を行い、 ( ) を30ほどにまとめた。
- ・ 台風や大雨のときに農作物が被害を受けないように、大型の ( ) を作って水がたまる前に外に流し出すようにした。

5. 海津市では、今でも市と市民が協力して水害の防止に努めています。  
右の写真 (P.27) は水防演習の様子です。何をしているところだと思えますか。写真から分かることを書きましよう。

Blank box for writing answers to question 5.



輪中に住む人々は、豊かな水をどのように農業や生活に生かしているのか調べましょう。



立上り用水田の様子(1968年)



立上り用水田が整ったあとの水田の様子

1. 水が豊かな輪中では、昔から稲作を行ってききました。上の写真(教科書 P.29)を見て、うめ立て前とうめ立て後の水田では、どんなちがいがいるか、気付いたことを書きましょう。

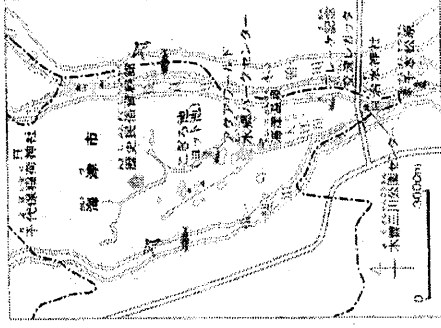
[Empty box for writing answers to question 1]

2. 田の広さや排水路を整える工事を進めたことで変化した海津市の農業の様子の様子についてまとめました。( ) にあてはまる言葉を書きましょう。

- 田の広さや形を整えたことで、( ) を使った農業ができるようになった。
- ( ) ができたことで ( ) がよくなり、米だけでなく ( ) や ( ) も生産されるようになった。

3. 右の資料(教科書 P.30)を見て、水辺の自然を生かした施設を書き出してみよう。

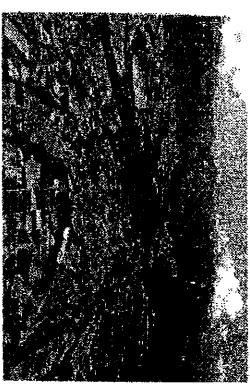
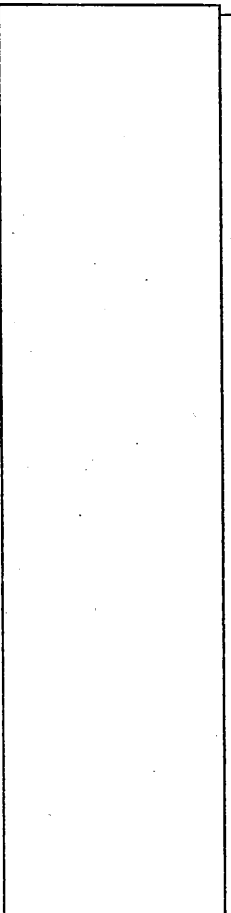
[Empty box for writing answers to question 3]



水辺の自然を生かした施設

4. 海津市の人々が豊かな水をどのように生活に生かしているかまとめました。
- ( ) にあてはまる言葉を書きましょう。
  - ( ) の自然を生かした施設があり、( ) を楽しんでいる。
  - 輪中の( ) や川を ( ) の練習場や ( ) の施設に利用している。
  - ( ) を使った料理や ( ) に力を入れている。

1 教科書 p 32の写真「嬭恋村の様子」を見て気付いたことを書きましょう。



2 教科書 p 32のグラフを見て、東京の気温と嬭恋村の気温を比べて分かったことを書きましょう。

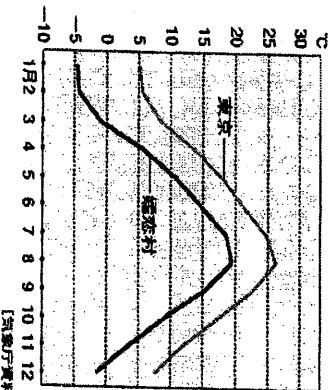
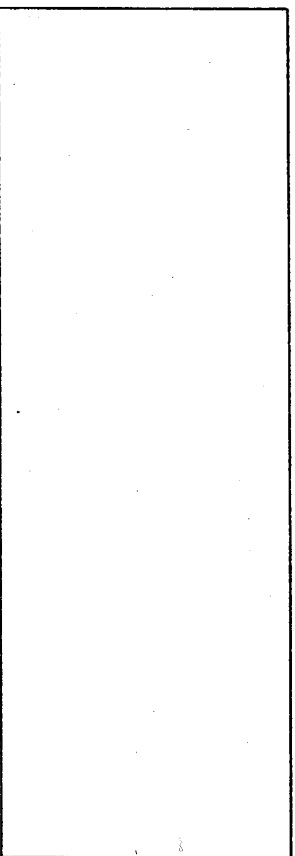
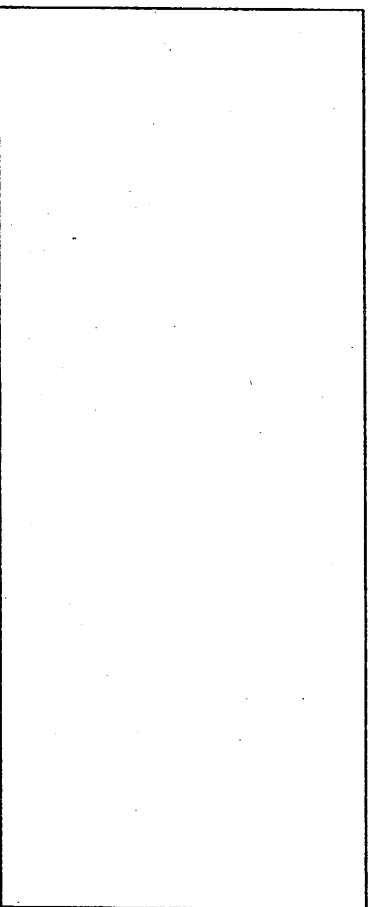
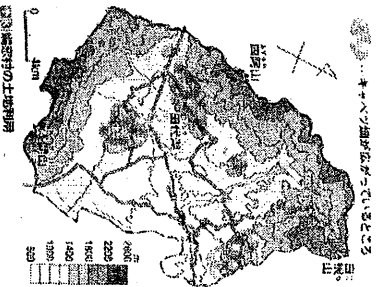


図2 嬭恋村と東京の月別平均気温

【気象庁資料】



3 教科書 p 33のグラフを見て、分かることを書きましょう。



4 嬭恋村の人々は、どのようにして今のような土地にしてきたのでしょうか。

- ( )に当てはまる言葉を書きましょう。
- ・ ( )のえいきょうから、土地がやせていてなかなか作物が育たなかったが、明治時代の終わりごろから ( )づくりが始められた。
  - ・ 高原ならではの夏でも ( )気候が生かされた。
  - ・ 村の人々が土地を ( )、 ( )を工夫した。
  - ・ 今では ( )として全国に知られる。

5 次の言葉を覚えましょう。

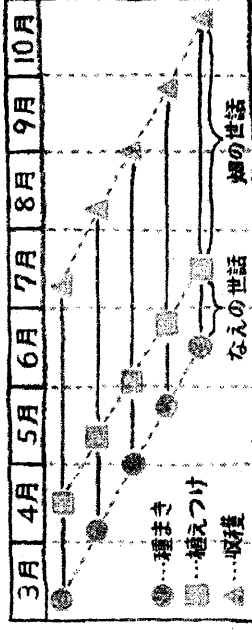
高原野菜      高い土地での、夏でもすずしい気候を生かしてさいばいされる、キヤベツなどの野菜。

嬭恋村のキャベツづくりの工夫について調べましょう。

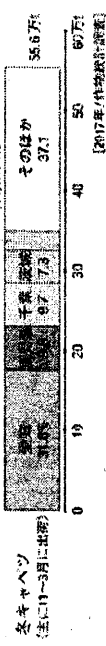
1 教科書 p 36・37のグラフを見て分かること分かったことをまとめました。

( ) にあてはまる言葉を書きましょう。

- ・種まき・植えつけ・収穫が( )回ある。
- ・( )月から( )月までしゅうかくする。



- ・秋夏キャベツの生産地は( )が最も多い。
- ・春キャベツや冬キャベツの産地は、愛知県や千葉



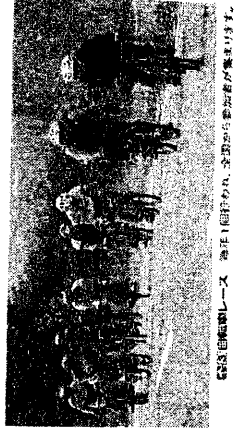
⑧季節ごとのキャベツの産地

2 次の言葉を覚えましょう。

促成栽培(そくせいさいばい)	作物の成長や出荷の時期を人間の手で早めるさいばい方法。時期をずらして出荷できるため、作物の価値が上がる。
抑制栽培(よくせいさいばい)	作物の成長や出荷の時期を人間の手でおくらせるさいばい方法。時期をずらして出荷できるため、作物の価値が上がる。

3 嬭恋村では、どのように生活をしているのでしょうか。

- ( ) に当てはまる言葉を書きましょう。
- ・小学校では、冬に( )の授業や大会がある。
- ・給食には、嬭恋村で収穫した( )が出される。
- ・全国から嬭恋村をおとずれる観光客は、夏には( )や( )、冬には( )など、たくさんの方々が来られている。



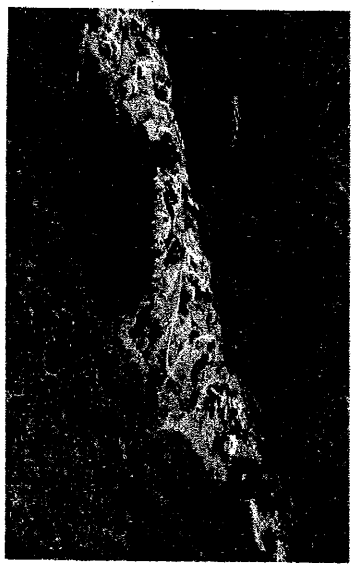
☆多 嬭恋村では、高い土地ならではの楽しみが季節ごとにある。  
自然条件の特色を、生活に生かしている。

1 これまでの群馬県嬭恋村の学習をふり返って嬭恋村の人々のくらしや産業についてまとめましょう。

山地(長野県飯田市下栗地区)でくらすくふうについて調べましょう。



60年前の下栗



現在の下栗

2 教科書p.40の下栗地区の60年前と現在の写真を見て、気づいたことを書きましょう。

3 長野県飯田市上村下栗地区の人々は、どのようなくらしをしているのでしょうか。

( ) に当てはまる言葉を書きましょう。

・高さ800から1000mの高低差のある( )に、畑と家が散らばっている。

・約50年前に( )が通れる道路ができ、飯田市の中心部まで1時間で行けるようになった。

・下栗の土地は( )がよく、土地が肥えているため、農作物をつくるのに適している。

・南に面しているので日照時間が( )、冬の寒い時期も気温が( )になることがほとんどない。

・下栗地区でつくられる( )は一年間に二度とれたことから二度いもと呼ばれる。

・近年では多くの観光客がおとずれるようになり、下栗の人たちは、( )を楽しめる場所を整備したり、おとずれる人たちは( )したりするなどの取り組みをしている。